

令和4年度の活動がスタートしました！

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、引き続き三密となるような会議や集会、行事・イベントなどが相次いで自粛される状況が続いています。自治協議会では、今年度2年ぶりとなる定期総会を開催いたしました。本来ならば、会員の皆さんにも集まっていたかたかたのたのですが、感染症拡大防止の観点から同協議会役員・理事の皆さんと連合会の皆さんに限定しての縮小開催としました。昨年に続いてホテル観賞会は中止することになりましたが、今後の事業実施も感染症の状況を見ながら判断していくこととなります。コロナの収束を見据えて各種事業（大運動会や旧公民館まつり等）の準備に取り組んでいきたいと考えています。

さて、本年度の自治協議会の役員については、総会において承認いただきました。役員7名・理事26名の体制でスタートいたします。役員・理事の皆さんには今年度一年間、自治協議会の各種事業を推進していただくほか、年4回の理事会をはじめ各専門部会の会議へのご出席をお願いすることとなります。種々お手数とご足労をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。



定期総会の様子

今年のホテル観賞会は中止します

自然豊かな柚木地区を代表する行事である「ホテル観賞会」は、残念ながら今年も新型コロナウイルスの影響で中止することになりました。ただ、ホテルはコロナに関係なくいつものように飛び交います。県道沿いの歩道や川沿いの遊歩道は自治協議会で草刈清掃していますが、見学する人は、足元に十分気を付けて安全に光の舞を観賞していただきますようお願いいたします。



柚木地区自治協議会役員(案)及び理事名簿 ※敬称略

区分	役職	氏名	所属
役員	会長	永瀨 秀雄	町内公民館連合会長
	副会長	松永 昌志	同 副会長
		小川 則弘	民生児童委員協議会長
		坂本 恭子	公民館女性部長
	会計	山口 勝利	元公民館連合会副会長
	監事	大木 繁雄	町内公民館連合会監事
		山中 市郎	消防第22分団長
総務部会 (町内公民館連合会役員)	会長	永瀨 秀雄	柚木町1組公民館長
	副会長	松永 昌志	上柚木町2組公民館長
	会計	寺崎 浩	小舟町2組公民館長
	環境部長	藤田 伸二	小舟町3組公民館長
	文化部長	米山 保	高花町2組公民館長
	体育部長	伊達 篤博	柚木町2組公民館長
	女性部長	坂本 恭子	柚木町2組女性部長
安全・防災部会	部会長	山中 市郎	消防第22分団長
	副部会長	小西 好生	保護司
		川下 実孝	少年補導員
環境づくり部会	部会長	藤田 伸二	小舟町3組公民館長
	副部会長	小川 一久	よかもん市代表理事
		田中 豊昭	里美町刈ノ推進委員
福祉推進部会	部会長	小川 則弘	民生児童委員協議会長
	副部会長	吉福 祥子	公民館女性部副部長
青少年部会	部会長	井元 保雅	青少年健全育成協議会長
	副部会長	関戸 祐樹	小学校PTA会長
		里村 貴司	中学校育友会長
公的機関の代表者	小学校	三代 直正	柚木小学校長
	中学校	久保 寛人	柚木中学校長
	駐在所	竹邊 紘太	駐在所警察官



～ 柚木地区ホタル観賞会のあゆみ～

徳道の信号機より潜木徳道線に入る道路側壁に、ホタルのレリーフ（浮彫細工）とその上部に「柚木ホタルの里」の文字看板が見えます。昔からこの周辺、特に相浦川沿いの上部にかけてホタルの名所として有名でした。しかし、昭和42年の佐世保全域にわたる大水害により、柚木地区でも相浦川上流の姿が一変するほどに荒れてしまい、その普及工事に長い歳月を要したため、ホタルの生息環境は壊滅状態になりました。



平成元年のホタル観賞会場の様子



道路側壁の「柚木ホタルの里」

この惨状に心を痛めた、当時柚木新町公民館長・故里見正毅氏と故 小川康人市議会議員が中心となり、「ホタルの里」再現を図るため、昭和63年に「ホタルの里づくり推進委員会」を結成、会長に故里見正毅氏が就任されました。まず、里づくり計画書の作成に着手。それにもとづきホタルの生育状況調査、カワニナとホタルの幼虫飼育場の整備などの研究を重ね、5年後の平成4年には徳道付近から上流で300匹の乱舞が確認されています。

平成6年10月に、ライオンズクラブ寄贈の横断看板が柚木郵便局前の国道沿いに完成しました。そして、ようやく平成7年6月にホタルの里づくり推進委員会が主催する、第1回目のホタル観察会が開かれました。当時は金～日曜日の3日間を2週続けて計6日間の開催でした。平成9年6月には、主催を柚木地区町内公民館自治会連合会とし、名称を「ホタル観賞会」として、土日の2日間を2週にわたり開催、平成13年6月からは1週のみの日開催に変更となりました。平成28年6月からは柚木地区自治協議会が引継ぎ、開催しています。

観賞会場で販売している『ホタルまんじゅう』は、柚木地区公民館女性部の手作りです。初めての観賞会に参加した関係団体の婦人部の方が、自分たちの出来るお手伝いをしようと思い、里見会長の奥様 静子さんが発案された「ホタルが石の上で光を出す姿」をイメージしたホタルまんじゅうを、山深の会が作成販売したのが始まりです。翌年には赤十字奉仕団が作成販売、平成9年からは、柚木地区公民館婦人部（現女性部）が引継いで現在に至っています。

※柚木郷土誌「見はるかす柚木」より一部参考



里美町道路公園付近のホタル看板

新型コロナウイルスの影響で観賞会は今年も中止になりましたが、里美道路公園や県道沿いの歩道、川沿いの遊歩道は毎年自治協議会で草刈清掃を行い、環境を整え維持に努めています。ホタルが飛び交うのは5月下旬～6月中旬ごろです。この時期限定の風流な光景をぜひ見に来ませんか。

☆～よかところ柚木紹介します♪～は9月号から再開します。

今回は、「上柚木町5組」（太郎浦）と「柚木町1組（中央）」の予定です。お楽しみに☆～